TOSTEM トステム株式会社

リビング建材 ファミリーライン モダン/クラシック クローゼット開き戸（片開き）　取付け説明書

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠注 意…取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 注　意

●本体の吊込みを行う場合は、本体の丁番カップが縦枠の丁番座に「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。本体の落下の原因となります。

■施工上のお願い

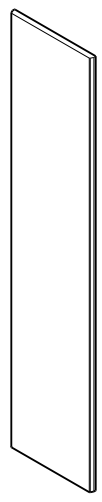
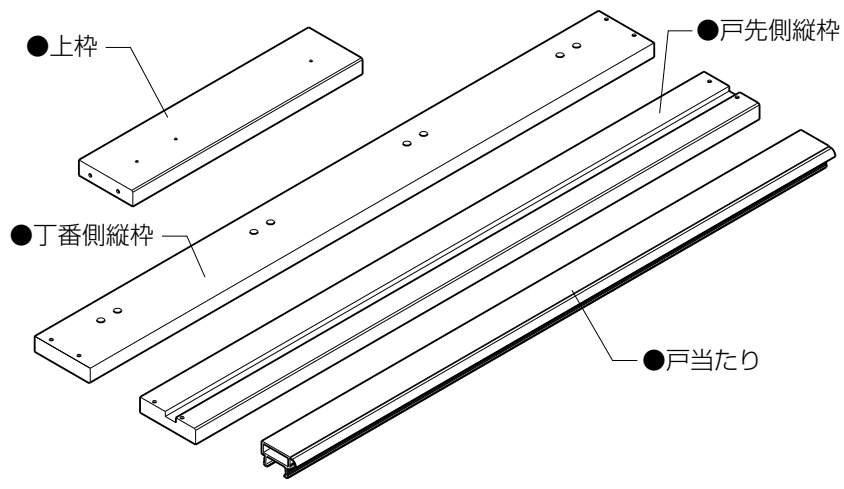
●丁番3枚吊り、4枚吊りの本体は、最初に中間の丁番を取付け、次に端部の丁番を取付けてください。又、本体を支えている手を離す場合は、必ず丁番を2個以上取付けてからにしてください。
●枠を取付ける際、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
●造作材・建具枠を取付ける時には、必ず接着剤を併用してください。
●かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤を塗布してください。
●現場で使う接着剤は、「F★★★★」又はノンホルムタイプを使用してください。
●かい木には、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
●本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。
●本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、垂下がり・ゆがみなどの原因となります。（本説明書内で「現地手配」と記されている場合は除きます。）
●造作材・建具枠の下地材は、必ず乾燥材（含水率20%以下）を使用してください。湿潤材は使用しないでください。
●壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
●枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損するおそれがあります。
●造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさの間には、かい木を入れてください。
●建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に直付けしないでください。
やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
●運搬・加工の際は、キズ付けないように取扱ってください。又、水・直射日光の当たる場所に、開梱状態で置かないでください。反り・ねじれの原因になります。
●納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず施工前にお買求め店までご連絡ください。（施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。）
●下枠の納め方に応じて縦枠を切断してください。

■縦枠の切断

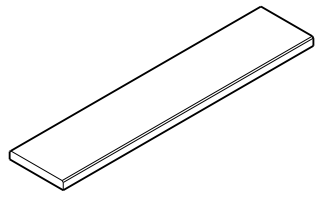
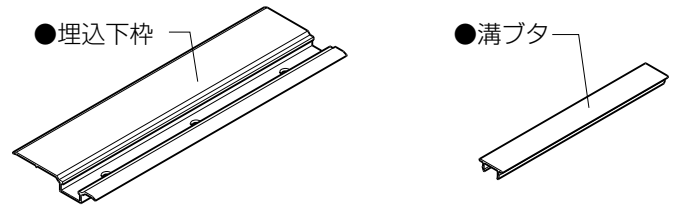
薄　下　枠	切断不要
埋込下枠	切断（12mm）

■各部の名称

※枠・本体はそれぞれ別梱包になっています。

本体	枠（1セット）
	

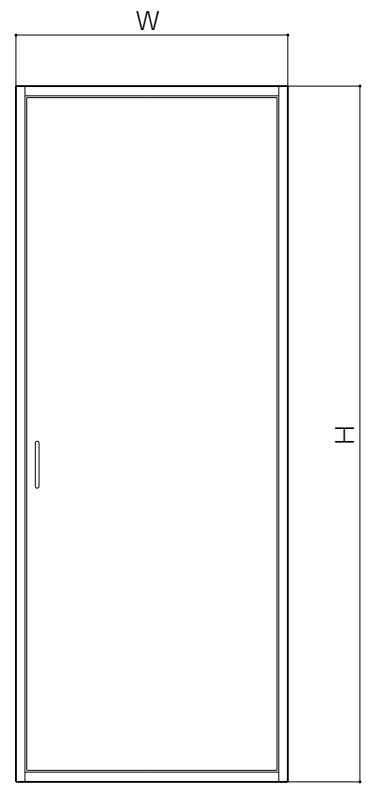
※下枠と三方枠は別梱包になっています。

薄下枠	埋込下枠
	

■開口部の作成

●開口部を作成します。
※開口部寸法は下記寸法で作成願います。

開口H方向：H＋5mm
開口W方向：W＋10mm



■部品セット一覧

■本体部品セット

部品名称 / 呼　称	把手セット（ねじ付）	丁番カップ
0818・0820	1	4

■枠部品セット

部品名称 / 呼　称	皿小ねじ M4×50（上枠・縦枠組立て用）	皿タッピンねじ φ4×50（上枠・縦枠躯体取付け用）	丁番座
0818・0820	4	※13	4

※予備用4本含む

■下枠部品セット

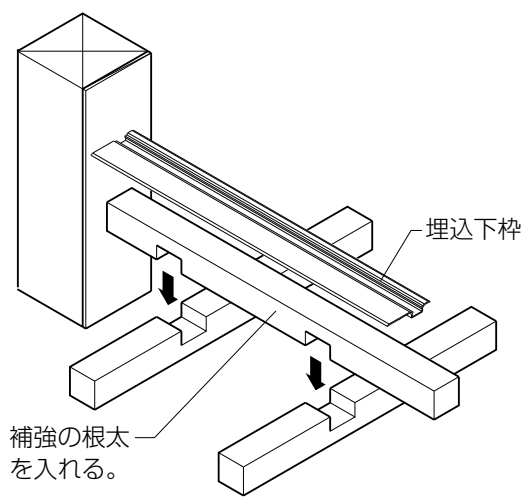
部品名称 / 下枠種類	皿小ねじ M4×50（下枠・縦枠組立て用）	皿タッピンねじ φ3.5×20（枠取付け用）	縦枠下部ピース	縦枠下部ピース取付け用 皿タッピンねじ 1種φ4×20
薄下枠	4	−	−	−
埋込下枠	−	3	2	2

■床の張り方

〔床先張り（枠後付け）の場合〕

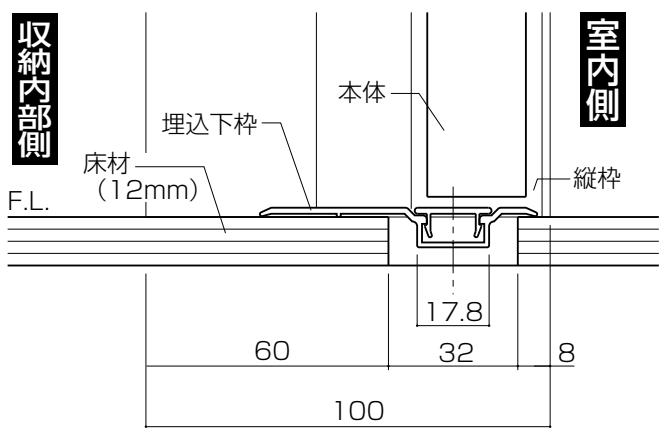
1 埋込下枠下地の確認

①枠材は捨て張り合板の上に施工するか、根太張り工法の場合は下図のように根太を入れて補強してから施工してください。下枠の破損や本体開閉不具合の原因となります。



2 床張り位置（床の張込み）

①下図の位置に32mm（最小開口25mm）あけて床材を張ってください。

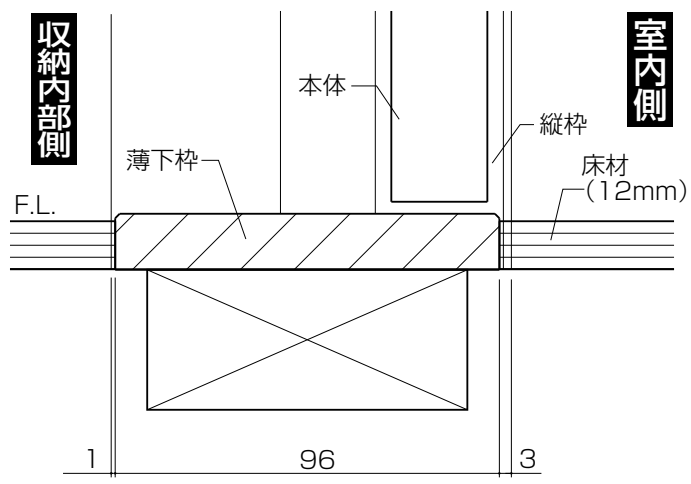


お願い

※床材は必ず図の位置に張込んでください。
床材の開口寸法が大きすぎたり狭すぎると、床のすき間が見えたり埋込下枠が入りにくい原因となります。

〔床後張り（枠先付け）の場合〕

①枠の取付け後、縦枠・薄下枠に沿って床材を張ってください。

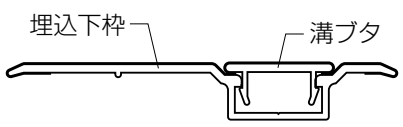


■取付け詳細

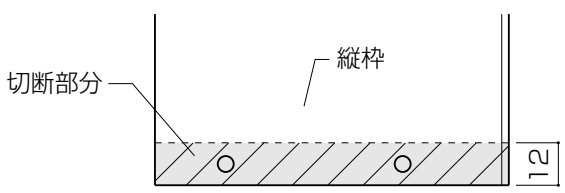
1 枠の組立て

〔床先張り（枠後付け）の場合〕

※埋込下枠セットを使用してください。

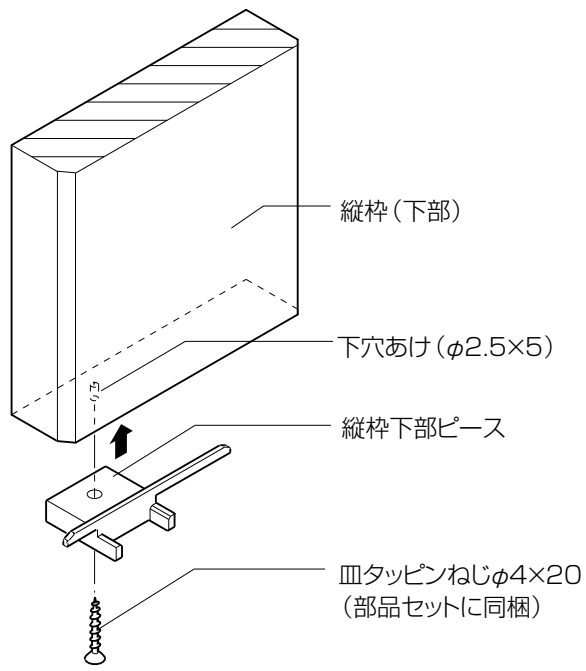


①縦枠斜線部を切断します。



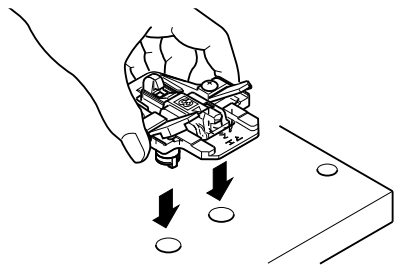
●切断寸法（12mm）は、H18の場合、床上面（F.L）から上枠上端までの寸法を1823mm（H20＝2023mm）にする場合を示します。
※現場の納まりによって加工寸法を決めてください。

②縦枠に縦枠下部ピースをねじ（皿タッピンねじφ4×20）で固定します。縦枠に下穴（φ2.5×5）をあける時は、取付け説明書に載せてある型紙を使用して位置出しをすると簡単にあけることができます。

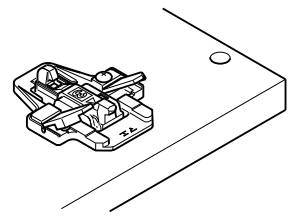


③縦枠に丁番座を取付けます。

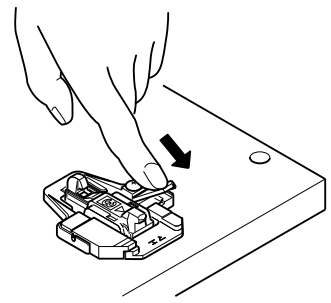
縦枠に丁番座を
差し込みます。



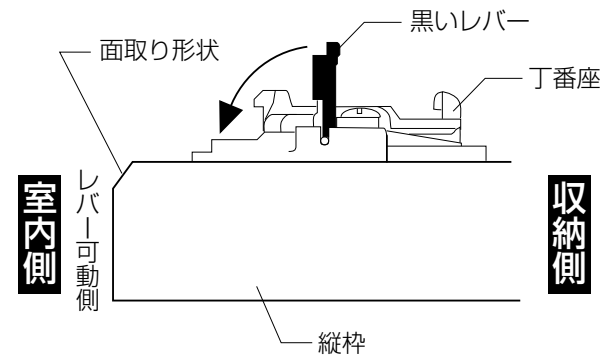
丁番座と縦枠の間にすき間が
ないことを確認してください。



黒いレバーをおろして
丁番座を固定します。

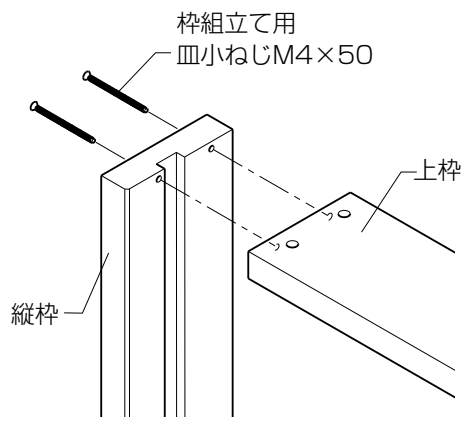


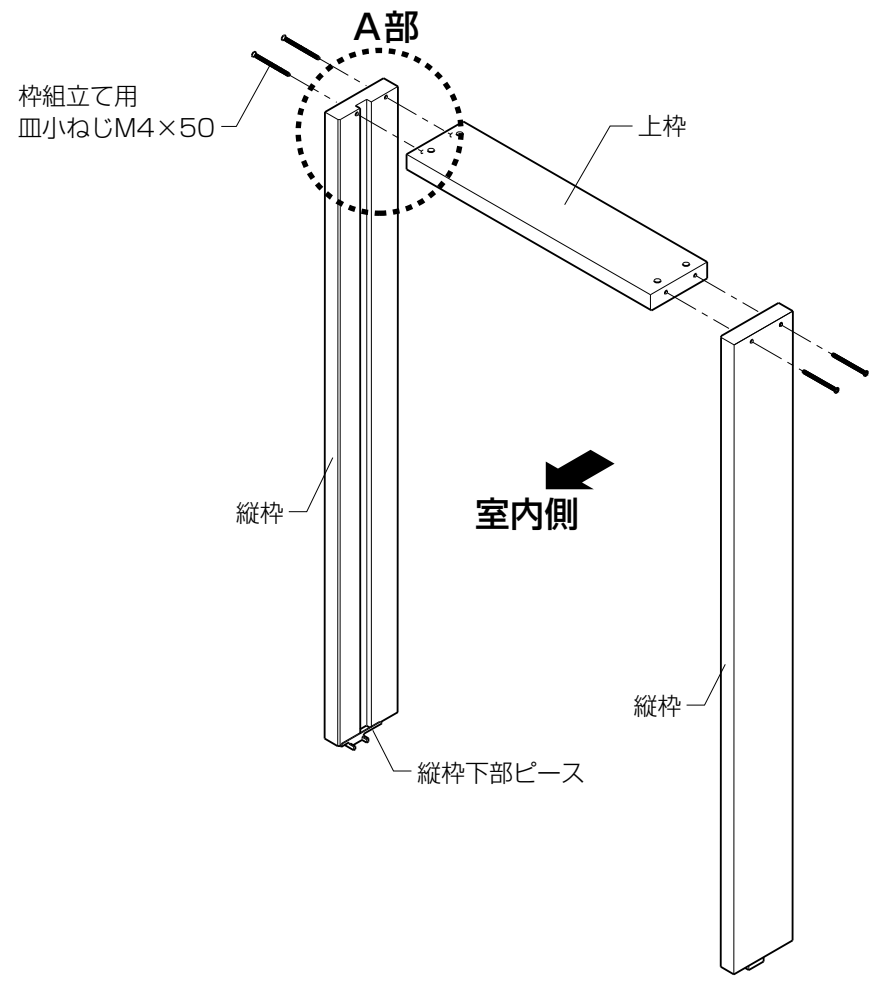
※丁番座の向きは下図を参照し間違
いのないようにしてください。



④上枠と縦枠を枠組立て用皿小ねじM4×50
で固定します。

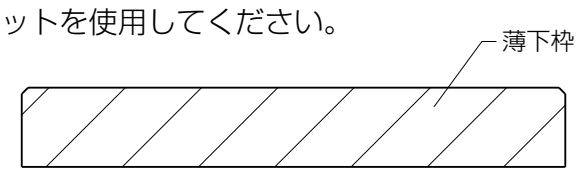
■A部詳細図





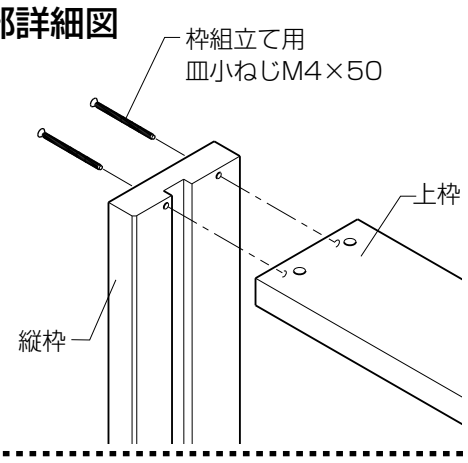
〔床後張り（枠先付け）の場合〕

※薄下枠セットを使用してください。

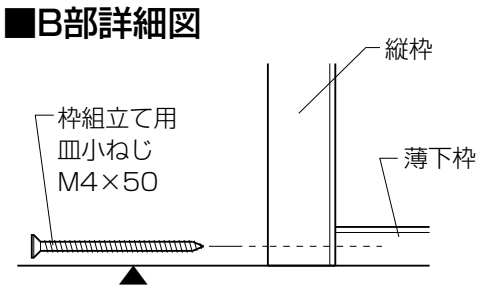


①上枠・薄下枠と縦枠を枠組立て用皿小ねじM4×50で
固定します。

■A部詳細図

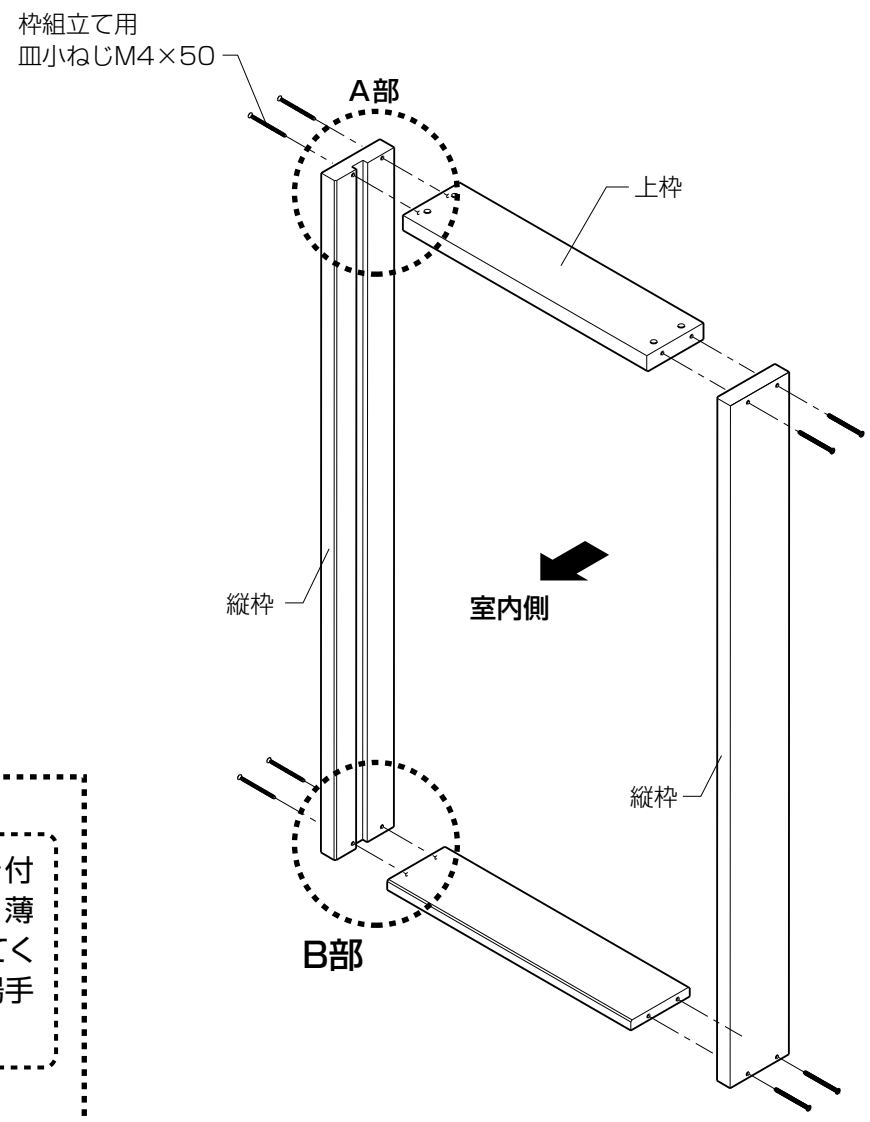


■B部詳細図



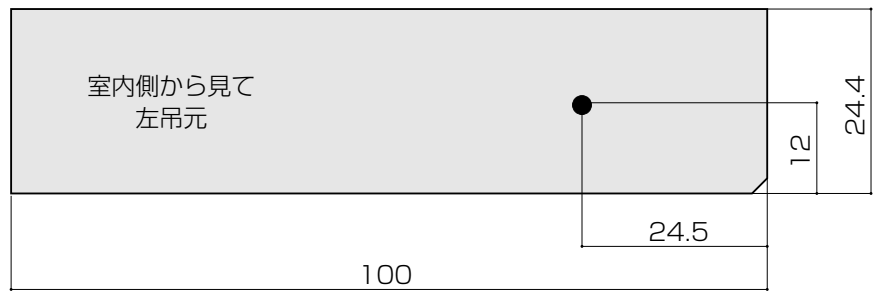
※この面を平らに
してください。

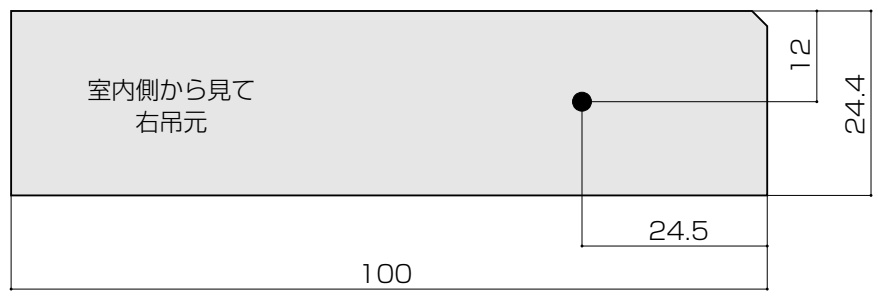
※下地材（t＝3mm）を付
ける場合にも、縦枠と薄
下枠の下面を合わせてく
ださい。（下地材は現場手
配です。）



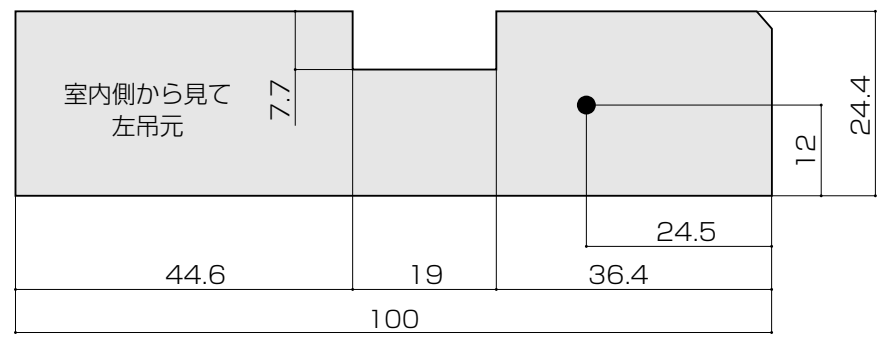
●縦枠下部ピース取付け穴加工用型紙

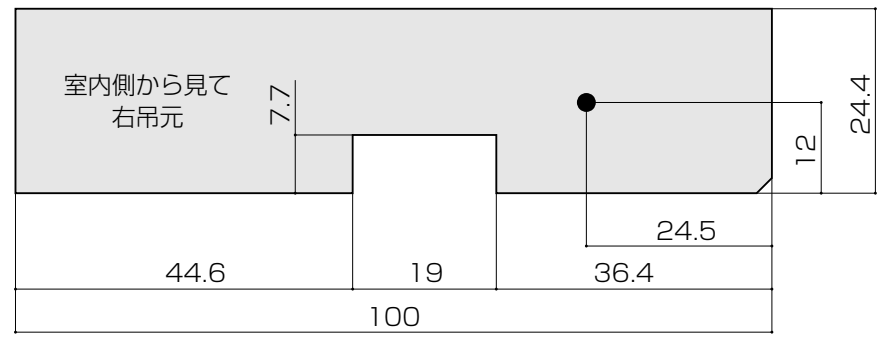
・丁番側縦枠（下穴φ2.5×5）





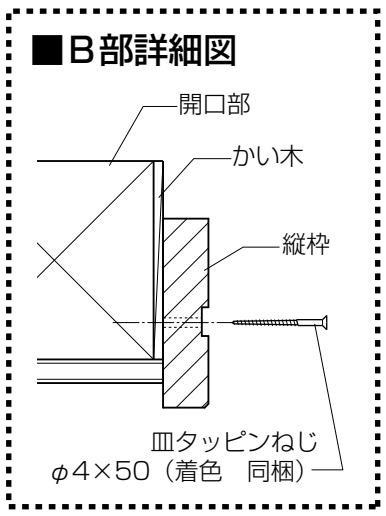
・戸当たり部材取付け側縦枠（下穴φ2.5×5）

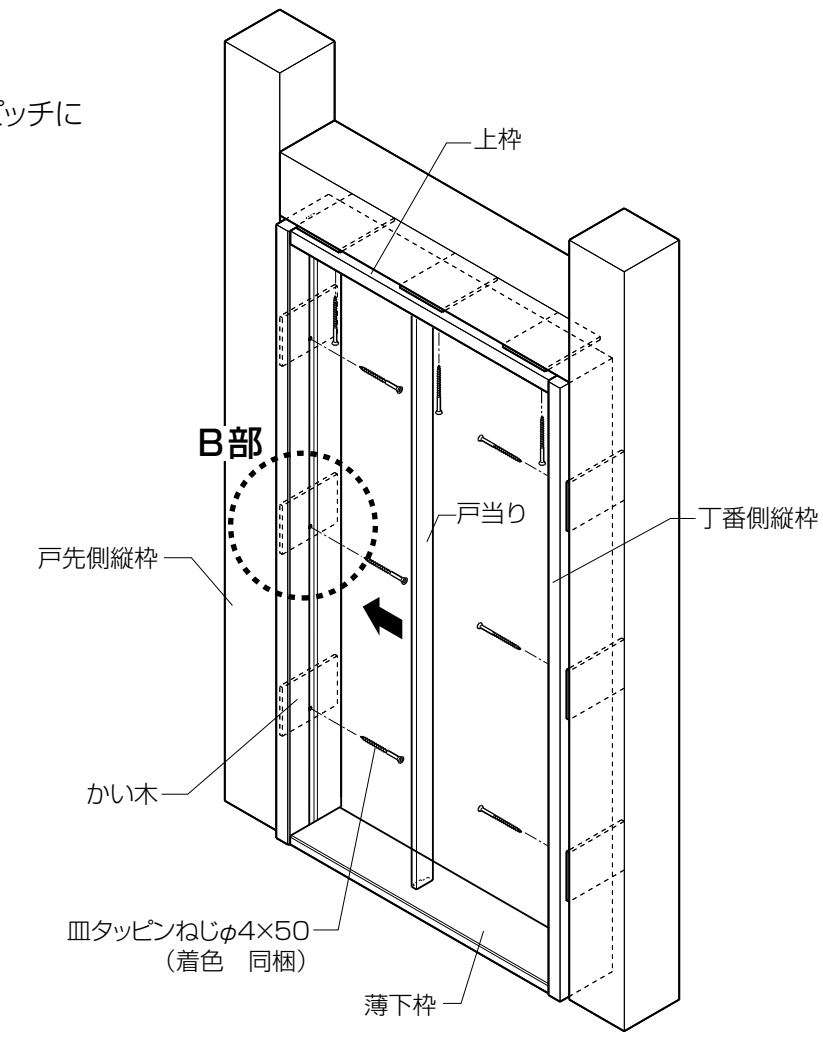




2 枠の取付け

①組立てた枠を、開口部に取付けます。
※取付けねじ（皿タッピンねじφ4×50）と同ピッチに
なるようにかい木をいれます。



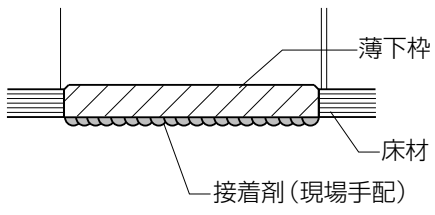


②下枠を躯体へ固定します。

〔床後張り（枠先付け）の場合〕

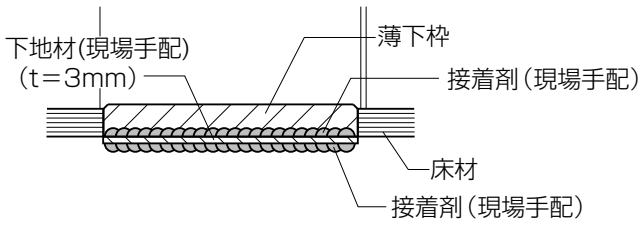
●床材厚さ12mm

※必ず薄下枠に接着剤を付け、躯体に
固定してください。



●床材厚さ15mm

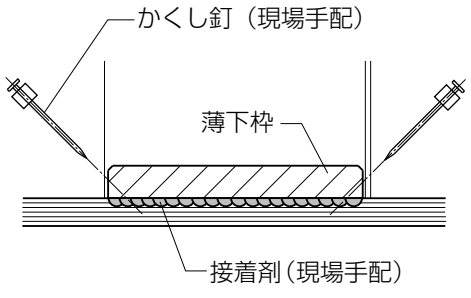
※必ず薄下枠と下地材に接着剤を付け、
躯体に固定してください。



〔床先張り（枠後付け）の場合〕

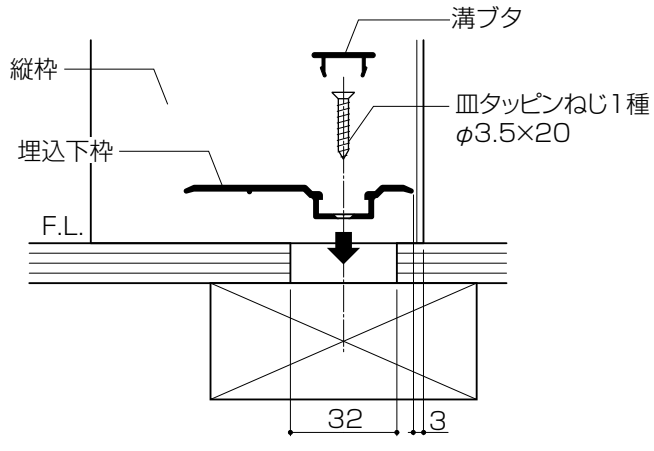
薄下枠の場合

※薄下枠は接着剤を塗布し、かくし釘
などで固定します。

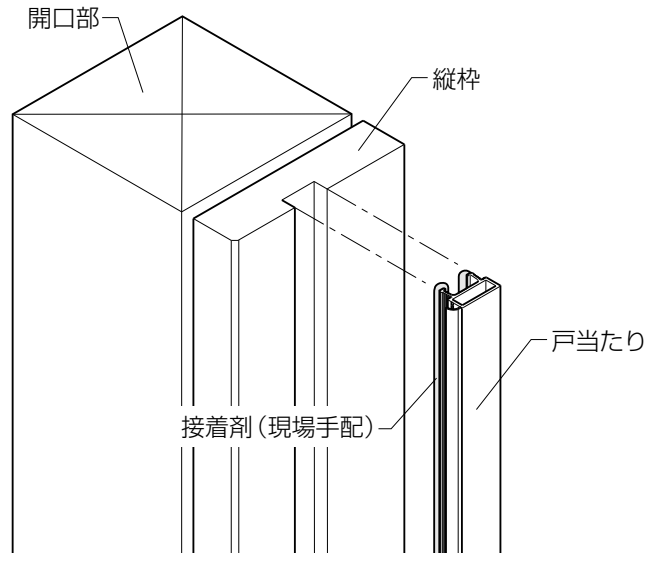


埋込下枠の場合

●埋込下枠を縦枠下部ピースにはめ込み、
縦枠室内側端部から3mmの位置にねじ止
めし、溝ブタをはめ込みます。

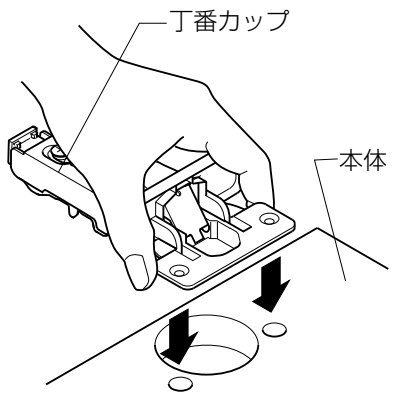


③戸当たりに接着剤（現場手配）を付けて溝をふさぎます。
※戸当りが長い場合は、無理に入れずに必要量を切詰めてください。
※戸当りの接着剤での接着は、必ず枠の建付け完了後に行うようにしてください。

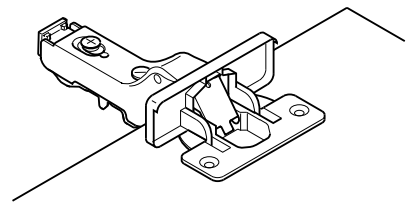


3 本体の吊込み

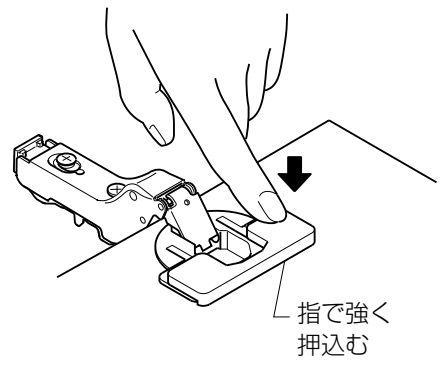
①丁番カップを取付けます。



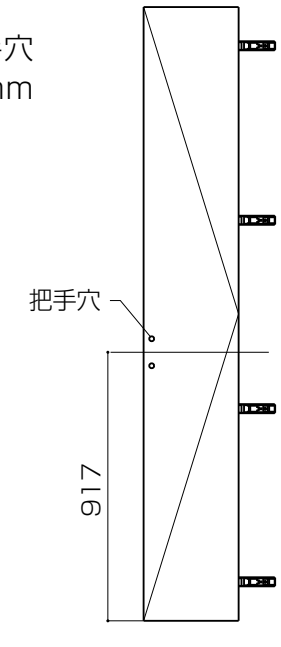
丁番カップのカバーを90°に開いて、本体の丁番カップ取付け穴に丁番カップを差込んでください。
※ワンタッチ式ですので、ねじ止めは不要です。



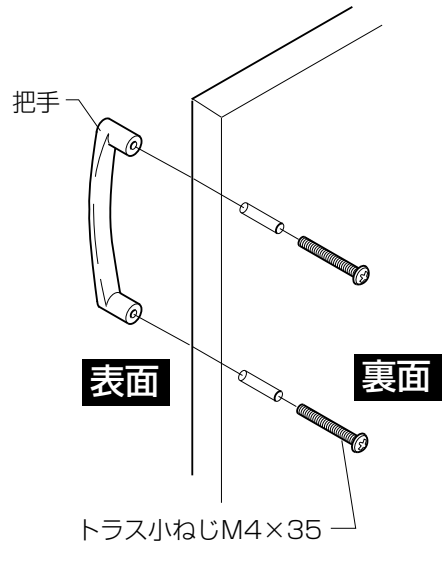
本体と丁番カップにすき間がないことを確認したら「パチッ」というまで強く押込んでください。



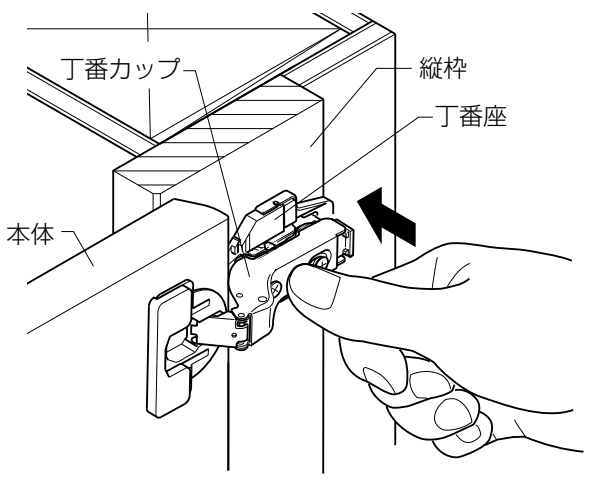
②本体の左右勝手の確認
●本体の下端より上下把手穴中心までの寸法が917mmになります。



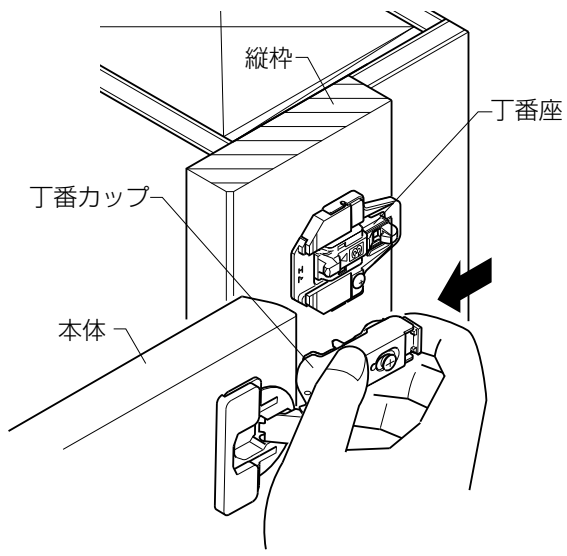
③把手の取付け
※把手セットは本体に同梱されています。



④本体の吊込み条件
●本体の丁番カップを縦枠の丁番座にセットし、上から押込むだけで簡単にセットできます。



●取外す場合は、先端のスイッチ（黒色）を押込むと外れます。



⚠ 注　意

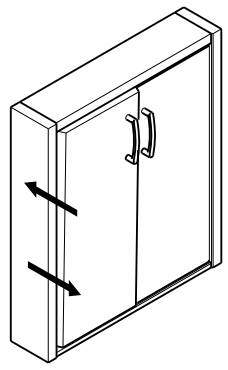
●本体の吊込みを行う場合は、本体の丁番カップが縦枠の丁番座に「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。本体の落下の原因となります。

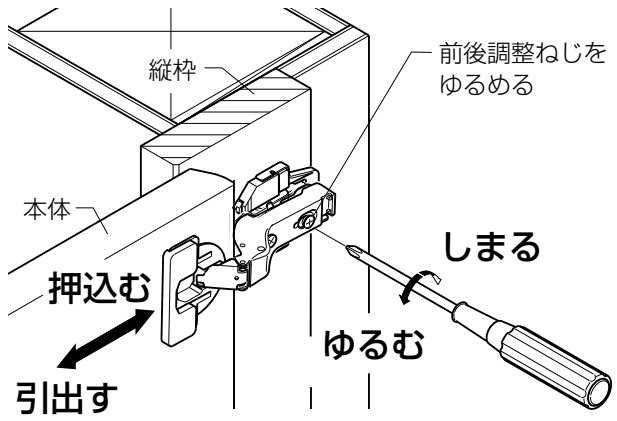
※0818、0820（4枚吊り）の場合、最初に中間の丁番を取付けてから、端部の丁番を取付けてください。
※本体を支えている手を離す場合は、必ず丁番を2個以上取付けてからにしてください。

4 本体の建付け調整

〔本体の前後調整〕

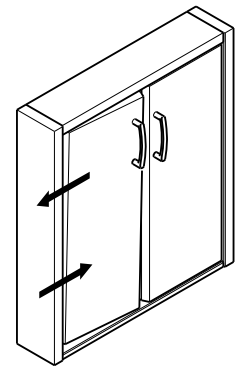
●調整範囲
前方向4mm
後方向0mm
（合計4mm）

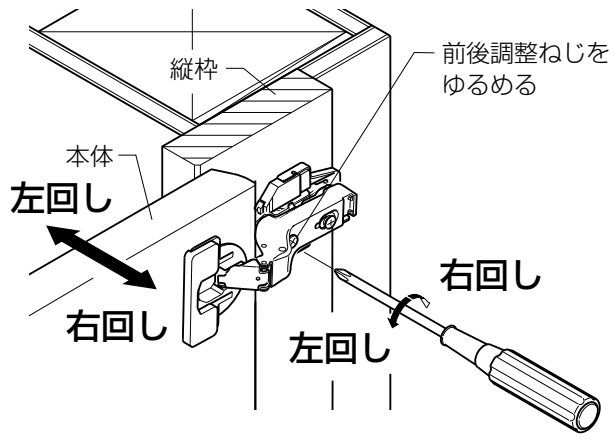




〔本体の左右調整〕

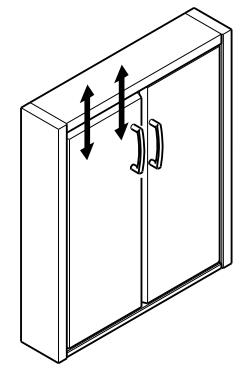
●調整範囲
（合計±2mm）

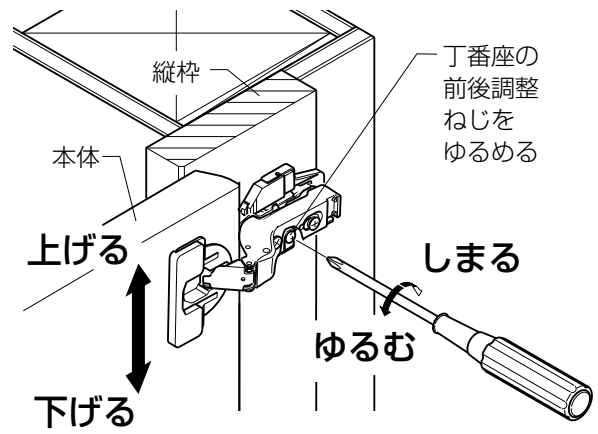




〔本体の上下調整〕

●調整範囲
（合計±1.5mm）



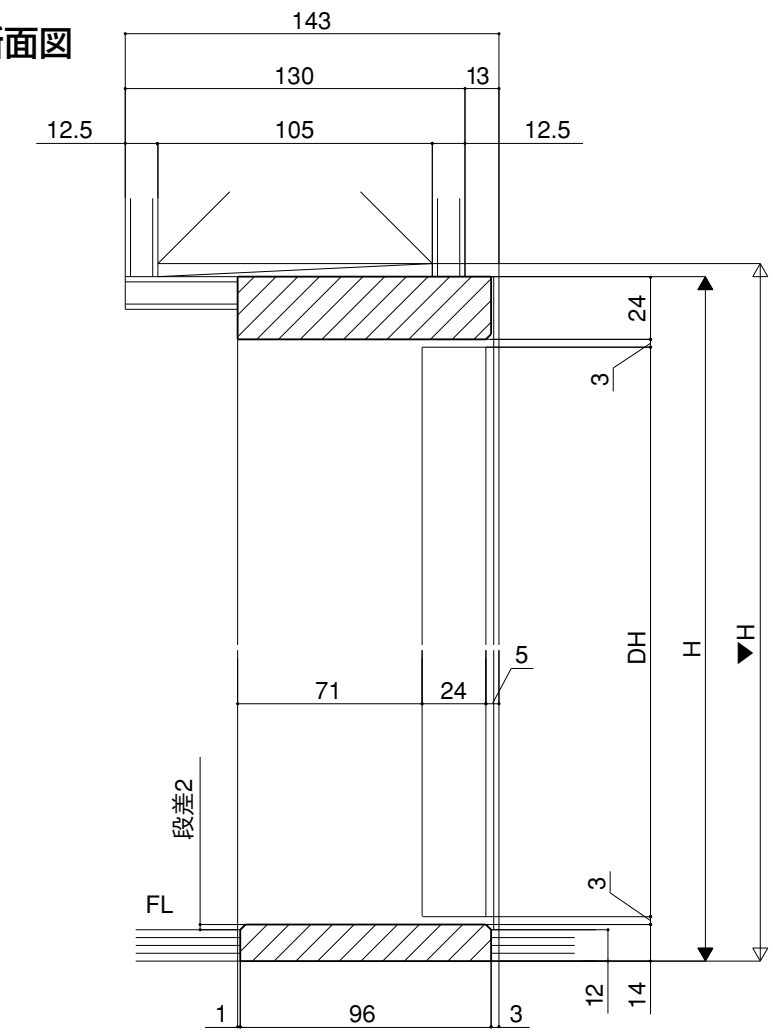


■納まり図

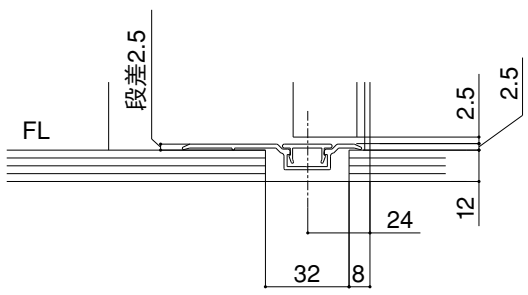
●クローゼット開き戸ユニット（片開き）
ノンケーシング

基本寸法（㎜）	W呼称	08M	
	W	824	
	H呼称	18	20
	H	1835	2035

縦断面図

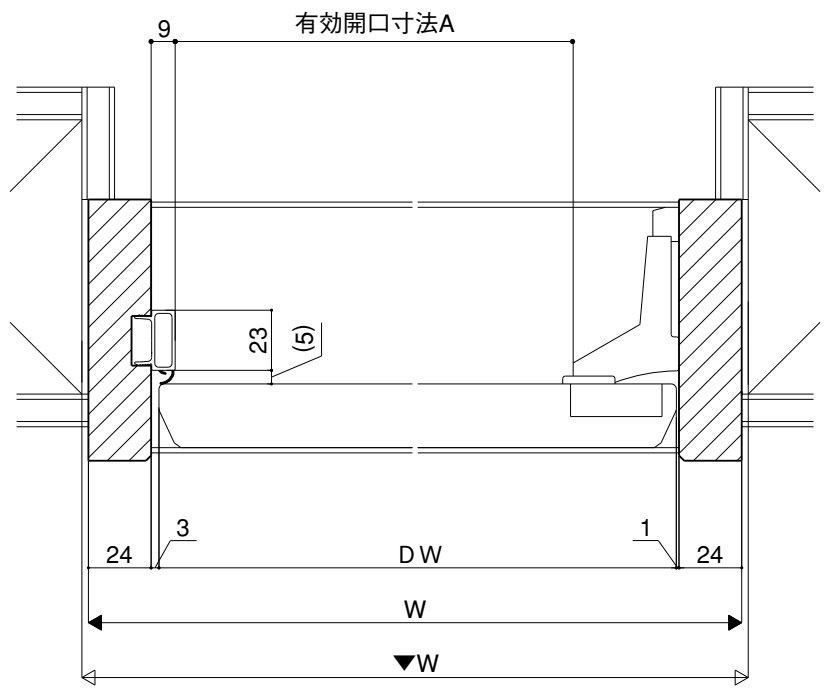


薄下枠使用



埋込下枠使用

横断面図



W呼称（枠外寸法）	A寸法
W08(824)	728